

社 長 名		会 社 名	景気の現状は	12年度下期の景気は	13年度上期の景気は	12年度下期業績は	設備投資計画は	12年度下期の円レートは	13年3月末の株価は	政府への要望
東 北 ・ 北 海 道										
藤井 徹也氏	キ メ ラ ＝金型 製 造＝	↘		↘	収入横ばい だ が 減 益		③	③		中小企業対象の法人税減税を徹底的に行い、円高デメリットの受け皿としてほしい
吉田 誠夫氏	吉 田 産 業 ＝建設資材卸＝			↗	増 収 だ が 利益横ばい	↗	③	④		
江口 正春氏	エムテックスマツムラ ＝一般機械器具製造＝				収入、利益 とも横ばい	↗	③	③		
清水 良一氏	福 島 製 鋼 ＝輸送機械部品製造＝	↘	↘		減収減益	↘	③	③		円高対策と電気料金の抑制。福島復興補助金の追加公共事業見直しによる景気対策の実施
小林憲一郎氏	小 林 工 業 ＝製 造 業＝			↘	収入、利益 とも横ばい		③	④		
内藤 清吾氏	内藤工業所 ＝建 設＝			↗	↗	増収増益	↗	④	④	復興需要を景気回復の契機と考え積極投資を進めてほしい（福島から始める日本新生）
斎藤 吉雄氏	岩機ダイカスト工業 ＝ダイカスト＝				収入、利益 とも横ばい	↗	④	③		今日日本は六重苦になっている。今後10年、20年を目指して自信を持って政策を進めてほしい
渡辺 武夫氏	岩手鋳機工業 ＝鋳 物 製 造＝			↘	減収減益		③	④		
首 都 圏										
浜野 慶一氏	浜野製作所 ＝金属加工工業＝				増収増益	↗	③	④		きめ細かい中小企業政策に期待
佐野 弘幸氏	東亜潜水機 ＝機械製造業＝	↘	↘	↘	減収減益		③	②		政治は言ったことの実行性、産業界は規制緩和
金道 繁紀氏	地盤試験所 ＝地質調査業＝			↗	増 収 だ が 利益横ばい		③	④		現状の政府に対し要望は何もない。長期的視野に立つて政策を実行する政府を待つ
落合 信二氏	スリーボンド ＝化学製品製造＝				増収増益	↗	③	③		F T A（T P P）への早期加盟
上野 邦香氏	東成エレクトロビーム ＝電子ビーム・レーザー加工＝	↘	↘		減収減益	↗	④	③		法人税率の低減
林 哲也氏	エーワン精密 ＝機 械 機 具＝	↘		↗	収入横ばい だ が 増 益		③	⑤		
藤田 嘉三氏	多摩川エアロシステムズ ＝航空機部品修理＝			↗	減 収 だ が 利益横ばい	↗	③	⑤		消費税アップは大反対。国内生産が向上する政策がない。中小企業が活気づく施策が必要
古内 明夫氏	フルウチ化学 ＝製 造 業＝	↘			減収減益		③	④		政党政権争いに明け暮れず、抜本的な景気対策を打ち出してもらいたい。もう身が持たない
辻 修氏	東日製作所 ＝トルク機器製造＝				収入、利益 とも横ばい		③	④		
河田 一喜氏	オリエンタルエンジニアリング ＝熱処理装置＝			↘	収入、利益 とも横ばい		③	③		
雨宮 秀行氏	ア タ ゴ ＝精密機械製造＝				収入横ばい だ が 増 益	↗	④	④		首都直下型、南海トラフの巨大地震の可能性が叫ばれているが、政府の政策が見えない
清徳 則雄氏	レ キ シ ー ＝情報サービス＝			↗	増 収 だ が 利益横ばい	↗	③	⑥		長期的な政策を立て、政権政党が変わっても遂行してほしい。実に政治家はでたらめです
林 光邦氏	テクノラボ ＝プラスチック製品製造＝	↗			増収増益	↗	③	⑤		極端に外需が落ちる中、政府主導の内需が景気を支えているようだ。政権の安定を望む
原田 宏一氏	湘南技術センター ＝エンジニアリングサービス＝	↘			増 収 だ が 利益横ばい	↗				不景気な日本には何が必要なのか。政府は国を守る景気対策を本気で考えるべきである
一住連 努氏	日本精密電子 ＝精密機械部品＝	↘	↘		増収増益	↗	③	③		グローバルで生き残るため様々な支援策を希望。円安誘導の強い態度を明示してほしい
三木 治一氏	三木ブーリ ＝製 造 業＝	↘	↘		収入、利益 とも横ばい		④	④		公共投資の拡大
平田 健介氏	川崎窒化工業 ＝金属熱処理＝	↘		↗	減 収 だ が 利益横ばい	↗	②	③		円高対策、デフレ対策に期待する
河本 悟氏	東 邦 電 子 ＝製 造 業＝				収入、利益 とも横ばい		②	④		
中村 幹夫氏	大和ケミカル ＝工業用ゴム部品製造＝				収入、利益 とも横ばい		③	④		
野田 泰三氏	セラルカNODA ＝生 物 産 業＝	↘	↘		増収増益	↗	③	③		メガバンクの若手行員に、これからの日本が必要とする中小企業を選ばせ担当させよう
細沼 直泰氏	日 本 伸 管 ＝製 造 業＝	↘			減収減益	↗	③	④		円高のデコ入れ、規制緩和、政治の強化が必要である
菅野 文夫氏	東洋ドリル ＝切削工具製造販売＝	↘	↘		収入、利益 とも横ばい		③	⑤		政治を安定させ、各種経済政策を戦略的に実施する
辻井 一男氏	辻井製作所 ＝鋳 造 業＝	↘		↗	減収減益		③	④		日本国内の工業維持のため、税率の引き下げと公共投資を積極的に行い円高を解消する
小原 敏治氏	小原歯車工業 ＝歯車製造業＝	↘			減収減益		③	④		
重田 龍男氏	シンクラボラトリー ＝製 造 業＝	↘	↘	↘	収入横ばい だ が 増 益	↗	④	②		新技術開発に最大限努力するが、研究開発に関して無税が極めて重要
嶋田 周吉氏	ファソテック ＝ソフトウェア開発＝	↘			収入、利益 とも横ばい		④	④		
横山 淳氏	矢 島 工 業 ＝自動車部品製造＝	↗	↗		増収増益	↗	③	④		産業の海外移転、国内空洞化の防止。法人税の見直し
町田 篤氏	マチダコーポレーション ＝ブロック製造販売＝			↗	増収増益		⑤	②		消費税増税に伴う駆け込み需要後の反動対策
櫻澤 誠氏	富士製作所 ＝製 造 業＝				減 収 だ が 利益横ばい		③	④		
花塚 直氏	花塚製作所 ＝一 般 機 械＝	↘			収入、利益 とも横ばい	↘	③	④		インフレターゲットを年率2％とする。日銀法の改正
菰澤 亮司氏	つ か も と ＝陶器製造業＝	↘	↘		増収増益	↗				消費税は上げるな！
高橋 一雄氏	ティー・エム・ビー ＝機 械 製 造＝		↘	↘	増収増益		③	④		
星 勝治氏	スターエンジニアリング ＝電機部品製造＝	↗		↗	収入横ばい だ が 増 益	↗	③	④		安定した政権を確立し、金融、産業政策など景気対策を早期に実施するよう要望する
太田 哲郎氏	オリオン機械 ＝製 造 業＝	↘	↘	↘	減収減益		③	④		
岩波 雅富氏	ライト光機製作所 ＝光学機器製造業＝	↘	↘		収入、利益 とも横ばい	↗	③	②		国内の重要な技術が海外に流出しないよう、税制や産業政策を実施すべき
山田 雅英氏	山田マシントール ＝機械工具製造販売＝				減収増益		③	③		
加藤 洋介氏	大 東 産 業 ＝機械器具製造＝			↘	増収増益		④	④		
加藤 正芳氏	加藤電器製作所 ＝電子部品製造＝			↘	収入横ばい だ が 増 益		③	④		円高対策を国の総力を結集して実行しなければ、中小地場産業は限りなく減少する
中 部										
大見 満宏氏	大 見 工 業 ＝精密切削工具製造業＝			↗	増収増益	↗	③	④		長期展望を持った政党・政治家が明確なビジョンを打ち出し、国民を説得すべき
谷川 晋氏	カメヤマ ＝日 用 雑 貨＝	↗	↗		収入、利益 とも横ばい		④	③		社会保障を改め、政府支出を抑え、規制を緩和し、民間活力を利用し、自由貿易を促進する
吉田 友栄氏	吉田鉄工所 ＝金属加工業＝	↘	↘		減収減益	↘	③	③		
松波 俊宣氏	岐阜ギヤー工業 ＝伝導機器製造業＝	↘		↗	収入、利益 とも横ばい		③	④		増税はしかたがないが、議員定数の削減や報酬カットなど歳出削減が不十分
渡辺 敬文氏	ワ ー ロ ン ＝内装材製造業＝			↗	収入横ばい だ が 減 益		③	④		増税施行前の駆け込み需要は必至であり、施行後の景気対策をしっかり準備してほしい
後藤 宏樹氏	ユニオンエレクトクス ＝電気機械器具製造＝			↗	収入横ばい だ が 増 益		③	④		法人税の減税
山本 達也氏	ホテイ・スコーポレーション ＝食 品 製 造＝				減収減益	↘	③	④		
塩井 保彦氏	廣 貴 堂 ＝医薬品製造＝				増収増益		③	③		
神谷 徹志氏	光生アルミニウム工業 ＝自動車部品製造＝	↘	↘		減収減益		③	④		
山本 勝敏氏	起 染 色 ＝染色加工＝	↘			増 収 だ が 利益横ばい		②	②		環境関連のコスト負担が過重。企業体力に配慮した柔軟かつきめ細かな指導施策を要望
石塚 秀治氏	名古屋精密金型 ＝金 型 製 造＝	↘	↘	↘	減収減益	↘	③	③		
小寺 敏正氏	エリジオン ＝情報サービス＝	↘		↗	収入、利益 とも横ばい		③	③		何も期待していないが、せめて民間企業のじゃまだけはしないでほしい
松井 忠彦氏	アミテック ＝産業機械製造販売＝	↗		↗	増収増益		③	⑤		

中堅・中小企業社長100人に聞く

景気・中小企業の足元の景況は慎重な見方が広がっている。ただ、このまま腰折れしてしまうことにはならず、過半を超える回答の「横ばい」を基調にしながら2013年度上期に明るさを取り戻すという結果になった。今回の調査では、前回の3月調査で29%あった「上昇」が6%に低下。逆に「悪化」は15%増の35%になり、「上昇」と「悪化」の割合が逆転した。しかし依然「横ばい」が59%で最も多く、減速感は見られるもののマインドが大きく崩れるまでには至らない。

12年度下期の見通しは、足元に比べ「悪化」が2%増の37%に高まり、12年度下期の業績予想は、景況に減速感が出る中で、「増益」が34%に上り底堅さを示した。

一方で「上昇」が5%逆転し、景況感は改善する見通しだ。13年度下期の業績予想は、景況に減速感が出る中で、「増益」が34%に上り底堅さを示した。

景気の現状認識

12年3月調査 12年9月調査

12年3月調査は12年度上期見通しを11年度上期実績と比較  
12年9月調査は12年度下期見通しを11年度下期実績と比較

無回答 0

12年3月調査 12年9月調査

12年3月調査は12年度上期見通しを11年度上期実績と比較  
12年9月調査は12年度下期見通しを11年度下期実績と比較

無回答 0

■経常損益見込み

12年3月調査 12年9月調査

12年3月調査は12年度上期見通しを11年度上期実績と比較  
12年9月調査は12年度下期見通しを11年度下期実績と比較

無回答 赤字 0

12年3月調査 12年9月調査

12年3月調査は12年度上期見通しを11年度上期実績と比較  
12年9月調査は12年度下期見通しを11年度下期実績と比較

無回答 0

■設備投資計画

12年3月調査 12年9月調査

12年3月調査は12年度上期見通しを11年度上期実績と比較  
12年9月調査は12年度下期見通しを11年度下期実績と比較

無回答 0

12年3月調査 12年9月調査

12年3月調査は12年度上期見通しを11年度上期実績と比較  
12年9月調査は12年度下期見通しを11年度下期実績と比較

無回答 0